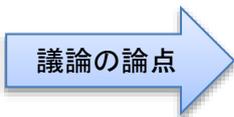


## (仮称)千代田区ウォーカブルまちづくり戦略の構成 (たたき台)

構成 (素案)	記載内容の方針 (素案)
<b>第1章</b> 現況・目的・位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国のウォーカブルなまちづくりに関する考え方と、区のウォーカブルなまちづくりに関する考え方を整理する。【資料1-1、1-2 参照】</li> <li>● そのうえで、ウォーカブルなまちづくりを進める目的・効果等を整理する。</li> <li>● また、(仮称)千代田区ウォーカブルまちづくり戦略の行政計画上の位置づけを整理する。【資料1-1 参照】</li> </ul>
<b>第2章</b> まちなかのウォーカブルな要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住居系の地域、商業系の地域等、様々なまちなかにおけるウォーカブルな要素を写真等とあわせて例示。【資料3 参照】</li> <li>＊ウォーカブルなまちづくりは「歩きやすい」だけではないことを視覚的・直感的に理解してもらうため</li> </ul>
<b>第3章</b> 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各地域でウォーカブルなまちづくりを展開するにあたって、区全体で共有する基本的な考え方を示す。</li> <li>● 現状では次の趣旨を方針とすることを想定している。【資料4 参照】</li> </ul>
<b>第4章</b> 実現への道筋	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来像を地域で共有し、実証実験等を経て地域構想や都市再生整備計画を策定していくオーソドックスな道筋や、実証実験等からスタートする道筋等を示す。</li> </ul>
<b>資料編</b> まちなかのウォーカブルな要素の詳細等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区内におけるウォーカブルな要素(公共空間、文化資源等)を整理、可視化する。</li> </ul>



○上記の構成項目検討に当たり留意すべき事項